

令和4年度 学校教育目標等

1 学校教育目標

- ・自律する人間の育成を図る
- ・共創する人間の育成を図る
- ・錬磨する人間の育成を図る

2 スクール・ミッション

- ・大自然の中での体験的な学習（日高町教育委員会の産業学習）や本校での特別活動等を通じて、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成
- ・一人一人が自己の成長を実感できる活動や他者との協働的な学びを通じて、未来を創っていくとする生徒の育成
- ・変化する社会に対応するため、広い視野と教養を身につけ、多様性を尊重し、他者と共生しようとする生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
・育成を目指す資質・能力 「自己理解力」「発信力」「課題発見力」「自己教育力」「協働力」 ・総合的な探究の時間を軸として、各教科・科目、特別活動等、すべての教育活動において5つの資質・能力を育成する。 ・産業学習（日高町教育委員会）との連携をととして、5つの資質・能力を育成する。
○教育課程の編成及び実施に関する方針
・地域を学びの場とし、地域の教育資源及び地域人材を積極的に活用した学びを推進する。 ・総合的な探究の時間を軸とした教科横断的な教育課程を編成し、個別最適な学び及び協働的な学びを推進する。 ・学校外における学修の単位認定を積極的に行い、生徒の能力・適性、興味・関心等の多様性に応じた学びを推進する。
○入学者の受入れに関する方針
基本的な生活習慣が身についており、次のいずれかに該当する生徒 ・進路実現や自己実現等への明確な目標を持ち、自己の在り方・生き方を模索しつつ、学習に対し継続的に努力する生徒 ・健やかな体や豊かな人間性を身につけるために、様々な体験学習に積極的に取り組む意欲を持つ生徒 ・自他の個性を尊重し、規律ある学校生活を送る意欲がある生徒

4 指導上の重点事項

重点目標	生徒一人一人の資質・能力を磨き、人間性や寛容性を広げることで「自立と共生」の精神を育成
学習指導	○生徒が夢中になって取り組む授業づくりと家庭学習習慣が身につく課題の提示 ○生徒の学習意欲を喚起させ、自発的に学習に取り組む態度が身につく評価の工夫 ○ICT機器の活用により、個別最適な学びと協働的な学びの効率化を推進
生徒指導	○規範意識、マナーは全ての基本であるとの共通認識による実践と指導 ○指導の重点項目、指導方法、手順の共通理解と教職員の連携した指導 ○生徒の自主性を引き出す支援・指導の工夫 ○生徒の自己管理や環境整備について外部機関と連携した支援と指導
進路指導	○3年間を見通した系統的な計画に基づく教職員の連携した支援と指導 ○自己実現や進路実現に向けて粘り強く取り組む力が身につく支援や指導の工夫 ○一人一人の進路実現に向けた適切な情報収集、生徒、保護者への十分な情報発信
健康・安全指導	○自他を認め合う態度が身につくよう、生徒が活躍する場面の設定と実践 ○生徒一人一人にとっての安全・安心な集団づくりと教育相談体制の整備 ○生徒の安全・安心な生活や環境整備について外部機関と連携した支援と指導 ○情報リテラシーや防災・防犯について生徒が主体的に取り組む学習内容の工夫